

ま え が き

学校園は子どもたちにとって安全な場であり、安心して学べる場でなければなりません。しかしながら、平成22年6月に市内の小学校において、児童が校舎から転落し死亡する事故を発生させてしまいました。私たちは、こうした事故を二度と起こさないため、子どもたちが安心して学べる環境づくり、保護者や地域に信頼される学校園づくりの推進を最重要課題として取り組んでいかなければなりません。

篠山市教育委員会は、平成23年2月に「学校園安全管理マニュアル」を発行しました。市内学校園すべての教職員が、安全管理と安全教育、及び組織活動の三つの主要な活動を通して、安全で安心な学校園づくりを進めています。

学校園安全を進めていくうえで大切なことは、子どもたち自身も危険に対する意識を高め、自ら身を守る力をつけることです。そのため、子どもたちが自ら危険を予測し回避する能力や、自分や周囲の人の安全に気配りができる資質を身につけることを目的として、この「学校園安全教育実践事例集」を作成しました。

本冊子には、安全教育を推進するための基本的な考え方、市内の各学校園から収集した安全学習や安全指導などの実践事例を理論編、実践編、資料編の三編に分けて掲載しています。「学校園安全管理マニュアル」とあわせて活用し、学校園における安全がより一層充実することを願っています。

これからも、家庭や地域、関係機関等との連携や情報交換を密にし、自分の命も他の人の命も大切にできる子どもたちを育てていきます。

平成24年3月

篠山市教育委員会